



歴代代表
インタビュー
きむにいい

15期・16期

ポッター

今回歴代代表者インタビュという事で第一回は2016年と2017年の代表、「きむこい」です。まずではですね最初に夢源風人を知ったきっかけ。初めて見学に来たときの思い出話とか聞かせてほしいんです。

きむこい

知ったきっかけはホームページです。そして見学に行かせてくださいと連絡して、大阪城公園に行かせてもらったのがきっかけですね。

ポ・まずその見学に行こうという

きっかけ、つまりは、よさこいをどこかで見てその上で大阪でチームを探したということ？

き…一人旅を当時してまして、高知県のひろめ市場に行っただんですね。

そこで出会ったカップルがきっかけで「よさこい」という言葉を知りました。いろんな話をしてる中で、「来年のよさこい祭りに来てください」と言われて、その時は社交辞令で連絡先を交換しました。その時は「行けたら行こかな。」っていうくらいやっただけです。1年くらい経って連絡が来て、「来週、よさこい祭りやからおいで」って。

朝から晩までずっと見てて、めっちゃかっこいいと思ったのがきっかけです。やりたい！と思って見つけたのが夢源風人でした。2011年の夢のみなもです。

ポ・実際代表になったのは、2016年15期、それまでの間は、ぴとうでは地方車班をしたり、事務局をしてからですね。そういう経緯を踏まえて代表になったわけですけども、代表になりたいって考えたのは、どいういう経緯で？

き…2011年入って踊りましたが、めっちゃ楽しかった。翌年も2011年の代表の方が継続で代表をされて、このまま続けたいと思って2年目もお世話になりました。

それが「かざるま」っていうテーマの時に初めて、スタッフ（地方車班）をさせてもらいました。

そして、よさこい祭り、踊り子兼スタッフをして、運営のお手伝いさせていたただくようになりました。

ポ…11期の時が初めてスタッフだったんですね。そして運営に関わるうという気持ちが強くなった？

き…そうですね。夢源風人は単年度制なので、毎年毎年変わる面白さも感じながら、ちよつとずつ、スタッフ、事務局を経験して、そして「いつか代表をしたいな」っていう夢ができてきたという感じですね。

それと、よさこいに出会わせてくれたカップルに「大阪のチームの代表をさせてもらうことになりました」って伝えたいというの夢の一つではありましたね。よさこいの「よ」の字も知らなかったおっさんが代表になれるって素敵☆

ポ…それぐらいからでも、未経験から初めて、しかも代表になれる。という意味では夢源風人というチームは特殊な点ですね。

き…そこはすごいと思います。すごいというか他にそういうチームって、ないんじゃないかなあつてずっと思いつながらやってましたね。

ポ…さて代表になって最初の大事な、新曲「あふさかんシンフォニー」制作秘話について伺います。まずは、曲の名前やテーマが産まれたキッカケについて教えて下さい。

き…自分が代表をするにあたって、どうしても取り入れたかった事が大阪を中心に活動しているチームとして、「大阪」という事を題材にしたかったんですね。

高知は素晴らしいのですが、高知だけよりも、もっと楽しく、観てる人が「おっ」と注目してもらえような形を目指したかったんです。

当時の副代表と話をしながら、イメージとして上がっていた「アフリカンシンフォニー」と合わせて、「あふさかんシンフォニー」とに決めました。

「逢う盛んシンフォニー」とも捉えることもできますし、とても面白い題材でした。大阪締めも取り入れたり、飴ちゃんも配ったりして、観てる人と触れ合ったりしてましたね。うん、素敵☆

ポ…なるほど、チームの地元である「大阪」をテーマにしたかったんですね。確かにこれまで大阪をテーマにした演舞はなかったですし、歴代の演舞の中では一番賑やかで楽しい雰囲気もあって大阪らしさが表現された一曲だったと思います。

さて、作曲の方を変更する大きな決断もありました。その経緯についても教えて下さい。

き…作曲家は、千賀先生からの紹介です。本当にご縁だったと思います。

ポ…そうして完成した「あふさかんシンフォニー」で、ぴとうは同じ関西の踊り子さんやカメラマンの方により認知してもらうきっかけとなりましたよね？そして、大きな賞もいただきましたね。

き…そうですね。お祭りで声をかけていただいたり、SNSに演舞の写真をあげていただいたりすることが増えました。これもご縁だと思っています。

そして、夢源風人のもう一つの本祭、こいや祭りでパレード賞をいただきました。

メンバー、インスト、スタッフがたくさん頑張った結果で、ただけが事が本当に嬉しかったです。

発表の瞬間のみんなの驚きの表情は未だに忘れられません！最高でした。めっちゃ大好き！そして、素敵☆

ポ：高知のよさこい祭りに参加しているチームもいる中で「パレード演舞」を評価してもらえたのは、よさこいチームとして本当に嬉しかったですよね。

受賞演舞は今 Youtube などで見返してもみんな凄く楽しそうに踊っているのが新しく入ったばかりのメンバーさんにはぜひ観て下さい！そして二年目、ぴとうがさらに飛躍した「ハレ、晴れ」

テーマは、どのように決まったんですか？

き：正直なかなか決まらなかった。僕は抽象的なテーマは得意ではなくて。分かりやすい方が良かったんですけど。色々話し合っって、紆余曲折を経て、最終的にIMPの外ですごく寒い中、立ちながら、震えながら決まりましたね。

「ハレ、晴れ」って晴れ晴れとした気持ちっていうのもありますし、ハレの日とケの日で使う「ハレ」の意味もあって。「ハレの日」って結婚や七五三とかのお祝い事ですよね。それを僕たちの中では、よさこい祭りに出ている時は、みんなにとって「ハレの日」と感じてほしい、心から晴れ晴れと踊ってもらいたいと願いを込めました。

ポ：「ハレ、晴れ」が誕生して、そして演舞を象徴するキーワードも生まれましたよね？「よいしょ」というぴとうの世界が、すごく広がっていった年でしたね。

そしてぴとうは目に見える形で大賞も受賞しました。

き：よさこい大阪大会と和歌山のデバ祭ですね。いただきましたね。

ポ：そこは代表としてどうでしたか？チームとして待ってましたと言われたり、賞を頂いたり。きむにいい中ではどう感じてました？

き：僕の中では予想外でしたね。もちろんみんなが頑張ってるし、チームとしてどんどん盛り上がりつつあると感じてましたけど。色んなチームさんの中で選ばれるというのはなかなか難しいことだと思っていたので。でも、見ていただき、選んでいただけたことは嬉しくもありましたし、頑張ってきたメンバーを誇らしく感じてました。

ポ：やはり、メンバーの笑顔が一番ということでしょうか。

き：今まで演舞のことを聞いてきましたが、きむに自身が代表をするなかで、ここだけはなにか、曲げたくないと思っていたところがありましたか？

き：少なかつたかもしれないですね。そういう意味では。みんなの意見を聞いてというのはすごくあったので。ぶつかるときもありましたけどね。やっぱり人間なので考え方も違ったり、やりたい方向性も若干違ったりとかもいくらかもあると思うので。その

中で「これがやりたい」って言うたことは意見を貫かせてもらったことは多々あるとは思いますが。

ポ：芯の部分ですね。夢源風人は今でこそ、学生さんとかメンバーの子供が踊るファミリーチームにもなりましたけども、それでもやっぱり大半を占めるのが社会人です。

代表の経験が仕事に何か活きたという経験はありますか？

き：人前で話すことがかなり楽になりました。毎回練習会が終わったら、20人30人、多いときは50人100人の前で話すんですけど、元からすごくあがり症やし、僕の場合には良いこと言おうとし過ぎたりするので、きちんと伝える機会やありがとうと伝える場面が多くて、人前で話をする力はずいぶんかと思えます。たぶん、きつと。知らんけど。

ポ：何かしら形として社会人の自分にとつてもいい経験になるといってどうですか？

き：なります！めちゃくちゃなりますね！

ポ：ぴとうは毎年代表がかわつていく、毎年代表を決めていくチームです。これから代表をと頭の隅で考えているメンバーがいるとは思いますが。先輩代表として、未来を担うメンバーの背中を押すようなアドバイスがあれば聞かせてください。

き：もし、頭の片隅にあるのならば、必ずやっってください。

やって損なことはない。みんなやっぱり難しいとか恥ずかしいとか、仕事が。とかいろんな言い訳は、やらなくてもできると思うんですけど、やることによって周りも助けてくれます。自分の成長にもつながります。なので、代表だけでなく、事務局やインストでもいい、作曲でも広報でも何でもいから、是非やってほしいと思います！

ポ：きむには再登板がありますか？

き：再登板！？私は無いですね。もしあるとしたら、誰かやる人のそばで支えてる役サポート役で使いたい。すべての人脈とすべてのお金を使って(笑)

ポ：ということと歴年代表インタビュー第一回はきむにいでした！ありがとうございます。

き：ありがとうございます。

ポ：最後に一言！

き：結婚したいっ！